

倉敷市児島における『若者』を意識したまちづくり について考えるラボ

ラボの課題

「児島地区公共施設複合化基本構想案」などのまちづくり構想を理解し、まちの機能を高めてゆくアイデアを若者視点かつ若者主体で創造すること。

連携先

倉敷市役所、児島産業振興センター、下津井シービレッジ他

活動報告

【児島のフィールドワークを実施】

5/27(土)

○児島産業復興センターの館長上田さんに児島のこれまでの歴史について話を聞きました。

『児島の歴史』

児島は元々瀬戸内海に浮かぶ島でした。児島の土は塩分を多く含むため、米作りができませんでした。そこで、塩分を含む土でも作れる綿の生産が盛んになりました。これをきっかけに、真田紐→足袋→学生服→ジーンズが作られ児島の木綿織業は発展していきました。

現在では、学生服は全国シェアの約7割、国産ジーンズ発祥の地として有名になっています。

○旧野崎家住宅

塩田王の約200年の歴史を持つ、国指定重要文化財



○ジーンズストリート



○食べ物



天ぷら割烹
三松



RIVETS
塩キャラメル味



ちくりん

今後の計画

「学生時代に戻れる街、児島」

児島は学生服でも全国で有名になりました！！

その学生服を着て児島の観光をしてもらう事で若者に戻ったような体験ができ、児島の良さも知ってもらうというコンセプトをもとにイベントの企画立案に取り組んでいきます。



担当教員：鷺見哲男、張 善会
学生氏名：亀井藍里沙 久保翼 桑田翼 和田拓馬

倉敷市児島における『若者』を意識したまちづくりについて考えるラボ

ラボの課題

「児島地区公共施設複合化基本構想案」などのまちづくり構想を理解し、まちの機能を高めてゆくアイデアを若者視点かつ若者主体で創造すること。

連携先

倉敷市役所、児島産業振興センター、下津井シービレッジ他

活動報告

2回目の授業では、各々が児島を代表するジーンズについて調べ、発表しました。

その後の授業では、倉敷市役所の方に、児島地区の今後の街づくり計画についてお聞きしました。

5月27日には児島駅周辺のフィールドワークを実施し、初めてジーンズストリートを訪れました。この時、やジーンズストリートが作られた歴史など詳しく教えて頂いたり、ジーンズストリートでお店を経営されている方からにお話を伺ったりしました。

フィールドワーク後の授業では、これまでの授業をもとにブレーストーミングをおこない、児島の強みと弱みを考えました。



S

- ・ジーンズショップが30店舗以上ある
- ・ジーンズショップごとに特色がある

W

- ・シャッタースペースが目立つ
- ・ジーンズショップ以外の要素が少ない

O

- ・ジーンズの需要は高い
- ・倉敷市立短大の移転

T

- ・ジーンズはどこでも買える
- ・周囲の観光地域と比べて目立たない

気づき・課題

- ・ジーンズストリートにシャッターが閉まっている店舗が多い
- ・ジーンズストリートを訪れる人を増やしたい

まとめ・今後の計画

春学期の活動でジーンズストリートのSWOT分析を行ったり、現地を訪れたりすることで、ジーンズストリートを発展させるための課題の発見や、アイデアの提案をすることが出来ました。今後は、課題に対する改善案や、提案したアイデアをより詳しく形にしていくことで、ジーンズストリートの活性化を目指したいと考えています。

担当教員：鷲見哲男、張 善会
西村采樹 林里佳 服部太一